

### 第3回 羽村市まち・ひと・しごと創生計画懇談会 グループディスカッション

2015/07/31 201・202会議室

#### 3つのターゲットについて

グループ	懇談会での発表(要約)
①岡委員、 田嶋委員、 山本(哲)委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ターゲット1 市内在住の未婚女性 → 30代まで広げたほうがいい。</li> <li>・ターゲット2 市外在住の未婚女性、ターゲット3 市外在住のファミリー層 → 都内で働く女性、都内在住のファミリー層に羽村市をアピールするには、「はむらスタイル」によほどのインパクト、具体性がないとアピールできない。羽村市を選択してもらうための具体性が見えるようにしなければ、都内在住者にアピールすることは難しい。</li> </ul>
②大和田副委員長、 山本(三)委員、 伊藤委員、 羽村委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ターゲット3 市外在住のファミリー層に絞ることが現実的。家庭を持っている層であれば、家の購入や物価の面を考慮して羽村市に来やすい。</li> <li>・ターゲット1 市内在住の未婚女性 → パートナー次第ではないか。</li> <li>・ターゲット2 市外在住の未婚女性では、ターゲットとしてリスクが高い。羽村市に転入してからも都内に働きに行き続けることは交通アクセスが不便だと人は来ない。</li> </ul>
③池田委員、 宇津木委員、 寺島委員、 小林委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ターゲット1 市内在住の未婚女性 → 20代に限定しなくてもいいのでは。</li> <li>・ターゲット2 市外在住の未婚女性、「ターゲット3 市外在住のファミリー層 → 市外在住者で羽村市に勤務している人や何らかの縁がある人を優先的にターゲットにしたほうが自然ではないか。</li> <li>・ターゲットは女性限定でいいのか。子育ての際、親の近くに住む傾向はある。市内在住の未婚女性、市内企業勤務の未婚女性をターゲットとし、さらに子育て世代をサポートする世代を別のアプローチで持ってくることも、実を結ぶのではないか。</li> </ul>
④勝山委員、 高橋委員、 渋谷委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・羽村市で子育てしている人が大事。子育てしている人が羽村市に住んでよかったと感じられれば、他の人に伝わると思う。</li> <li>・78事業に市民が関われる形にする。</li> </ul>